

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習(基本)	9時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	美容用具の説明	ウィッグの種類 器具の説明
2	美容用具の説明	ウィッグの種類 器具の説明
3	はさみの扱い方	はさみメーカーによる説明

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習(シャンプー)	36時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	今後のシャンプー内容の説明 準備のしかた、クロスの付け方、席の倒し方 ウェットの手順	
2	ウェットの復習 相モデルにてウェット 繰り返して手順を覚える	
3	ウェットの復習 泡立て方、バックシャンプーの手順	
4	バックシャンプー手順の復習 相モデルにてシャンプー トリートメントの付け方	
5	ウェット、シャンプー1セット行う ドライ(ブローはブラシがあれば)を展示、実践	
6	サイドシャンプーにて クロス付け、サイドの席の倒し方 ウェットの手順、相モデルにて行う	
7	ウェットの復習 相モデルにてウェット シャンプーの手順	
8	ウェットの復習 泡立て方、シャンプーの手順 相モデルにてシャンプー	
9	ウェット、シャンプー1セット行う ドライを展示、実践	
10	ウェット、シャンプー、ドライの流れで行う 席で出来る軽めのマッサージを行う	
11	一連の流れで行う	
12	テスト	

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習(カット)	36時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	カット概論	道具の扱い方
2	カット概論	シザーズの扱い方 実習:ウエット、ブロッキング、カット反復練習
3	ワンレングスカット	カット技術
4	ワンレングスカット	カット技術
5	ワンレングスカット	カット技術
6	ワンレングスカット	カット技術
7	ワンレングスカット	カット技術、フローテクニック
8	ワンレングスカット	カット技術、フローテクニック
9	グラデーションカット	カット技術
10	グラデーションカット	カット技術
11	グラデーションカット	カット技術
12	グラデーションカット	カット技術

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習(ワインディング)	96時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	オリエンテーション	授業準備、道具の名称、作業姿勢
2～3	ブロッキング	
4～5	ブロッキング復習、上巻き展示、練習	
6～7	ブロッキング・上巻き復習、下巻き展示、練習	
8～9	ブロッキングタイム入れ、上巻き・下巻きでセンター巻き練習	
10～11	ブロッキングタイム入れ、フロント展示、センター巻き練習	
12～13	左右バックサイド、サイド展示、練習	
14～19	ブロッキング+全頭巻き練習	
20	巻き方のバリエーション、	
21	パーマをかける	
22	サロンワークでのヘルプについて	
23～32	ブロッキング+全頭巻き練習	

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習 (オールウェーブセッティング)	90時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	セッティングウィッグ作成 根つぶし	授業準備、道具の名称、作業姿勢
2～3	セッティングウィッグ作成 パーマ	
4	セッティングウィッグ作成 毛量調整	
5	用具の取り扱い、準備、ローション塗布	
6	1段目 毛流れ、スカルプチュアカール	
7	1段目馬蹄、スカルプチュアカール復習、2段目ハーフウェーブ	
8	1段目、2段目復習、2段目リッジ	
9	1段目、2段目復習、3段目ウェーブ、スカルプチュアカール	
10	1段目から3段目まで復習、耳上までの左右ウェーブ	
11	1段目～耳上までの左右ウェーブ復習、4段目右リフトカール	
12	4段目右リフトカール復習、5段目左リフトカール	
13	4、5段目左右リフトカール復習	
14	1段目～5段目までの復習	
15	1段目～5段目までの復習、6段目左右リッジ、7段目クロッキノールカール	
16	7段目クロッキノールカール復習、6段目メイポールカール	
17～20	全頭作成(40分)	バランス確認(40→35分)
20～25	部分強化練習	
26～30	全頭作成(30分)	バランス確認(30→25分)

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習(ヘアアレンジ)	30時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	オリエンテーション、ストレートアップ	用具の名称、使い方 梳かし方、黒ゴムの使い方、バックコーミング
2	三つ編み、編込み	三つ編み、表編み、裏編み 編込み、表編込み、裏編込み、片編込み、フィッシュボーン
3	編込み	復習
4	四つ編み	ローブ編み、カゴ編み
5	ピンギの仕方、アイロンテニック	ネジピン(抑え込み留め)
		アメリカピン(平留め、外留め)
		ミックス巻き、ナミウエーブ
6	新日本髪	すき毛の作り方、扱い方
		髷をつくる
7	新日本髪	鬢をつくる
8	新日本髪	前髪をつくる
9	新日本髪	髷をつくる
10	新日本髪	復習

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習(カラーリング)	9時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	ヘアカラーリング	毛髪知識・ヘアカラー基礎知識・サロンで求められる知識
	グレイカラー塗布手順の習得	グレイカラー根元塗布技術・毛先塗布技術をウィッグとトレーニングクリームを用いて反復練習
2	ヘアカラーリング	グレイカラー根元塗布技術・毛先塗布技術の復習
	グレイカラー塗布手順の習得 ファッションカラー塗布手順の習得	ファッションカラー根元塗布技術・毛先塗布技術をウィッグとトレーニングクリームを用いて反復練習
3	ヘアカラーリング	ファッションカラー塗布技術を用いてウィッグにヘアカラー
	ファッションカラー塗布手順の習得 ヘアカラーリングの製品理解	をカラーリングする。技術の精度と発色の傾向を確認 ハンドドライとスタイリング剤知識の習得

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年後期	美容実習(学外実習)	30時間
授業科目の学修教育目標		
概要	実際のサロンに赴き、サロンワークの基本的な実務を理解する。	
目標	学校で習得した美容に関する知識や技術を更に控除させるため、実際の現場において管理美容師の指導のもと美容の仕事全般を体験学習する。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	サロン実習	美容技術理論に基づき、技術実習、美容器具の操作方法、衛生管理の為の必要な措置、接客サービスなど、実践を学ぶ。

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
1年前期・後期	美容実習 (町美Festa)	60時間
授業科目の学修教育目標		
概要	今までの学んできた知識技術を発表する	
目標	今までの学んできた知識技術を発表する	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	実習 学生たちが自らデザインした作品について、アドバイス等行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	作品制作	作品制作
2	作品制作	作品制作
3	作品制作	作品制作
4	作品制作	作品制作
5	作品制作	作品制作
6	作品制作	作品制作
7	作品制作	作品制作
8	作品制作	作品制作
9	作品制作	作品制作
10	作品制作	作品制作
11	作品制作	作品制作
12	作品制作	作品制作
13	作品制作	作品制作
14	作品制作	作品制作
15	作品制作	作品制作
16	作品制作	作品制作
17	作品制作	作品制作
18	作品制作	作品制作
19	作品制作	作品制作
20	作品制作	作品制作

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習(シャンプー)	18時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準：A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	準備物の確認、クロス付け、椅子の設定 ウェットの復習 サイドシャンプーの復習	
2	カラーシャンプー(乳化について) 乳化実践(ウィッグ)	
3	バックシャンプーの復習 相モデルで練習 先生チェック	
4	バックシャンプーの復習 相モデルで練習(ウェット→シャンプー→ドライ) 先生チェック	
5	バックシャンプーの復習 相モデルで練習(ウェット→シャンプー→ドライ) 先生チェック	
6	バックシャンプーの復習 相モデルで練習(ウェット→シャンプー→ドライ) ヘッドスパ	ホットタオルの作り方

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習(カット)	36時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準：A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	レイヤーカット	カット技術
2	レイヤーカット	カット技術
3	レイヤーカット	カット技術
4	レイヤーカット	カット技術
5	ショートスタイル	カット技術
6	ショートスタイル	カット技術
7	メンズスタイル	カット技術、セニング
8	メンズスタイル	カット技術、セニング
9	メンズスタイル	カット技術、レザー
10	メンズスタイル	カット技術、レザー
11	メンズスタイル	カット技術、レザー
12	メンズスタイル	カット技術、レザー

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習(ワインディング)	90時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	オリエンテーション、実力試験	
2～30	ブロッキング+全頭巻き練習	
	構成や所作の復習、	20分クオリティを上げていく

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習 (オールウェーブセッティング)	90時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の容の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	オリエンテーション、実力試験	
2～30	全頭作成(25分)	バランス確認(30→23分)
	部分強化練習	

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習(ヘアアレンジ)	18時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	夜会巻き	展示:ウエディングスタイル 実習:ウエディングスタイル反復練習
2	ワンロールスタイル	実習:ウエディングスタイル反復練習
3	ワンロールスタイル	実習:ウエディングスタイル反復練習
4	ポンパドールスタイル	展示:ワンロールスタイル技術展示 実習:ワンロールスタイルの反復練習
5	ポンパドールスタイル	実習:ワンロールスタイルの反復練習
6	コンテストスタイル	実習:ワンロールスタイルの反復練習

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習(カラーリング)	9時間
授業科目の学修教育目標		
概要	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を適宜組合わせて完成させる技術を習得させる。美容所における衛生管理の重要性を認識させ、器具の消毒などの適切な実施方法を身に付けさせる。個々の客の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身に付けさせる。	
目標	美容師としての必要な基礎技術を学ぶ。衛生面の技術と知識を身につける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	ヘアカラーリング	展示:カラー剤塗布手順、ホイルの使い方 実習:カラー剤塗布練習、ホイル練習
2	ヘアカラーリング	展示:カラー剤塗布手順 実習:カラー剤塗布練習、ホイル練習
3	ヘアカラーリング	展示:人頭レッスン、人頭の注意点カラー剤塗布手順 実習:カラー剤塗布練習

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期	美容実習(学外実習)	30時間
授業科目の学修教育目標		
概要	実際のサロンに赴き、サロンワークの基本的な実務を理解する。	
目標	学校で習得した美容に関する知識や技術を更に控除させるため、実際の現場において管理美容師の指導のもと美容の仕事全般を体験学習する。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	サロン実習	美容技術理論に基づき、技術実習、美容器具の操作方法、衛生管理の為に必要な措置、接客サービスなど、実践を学ぶ。

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習(サロンワーク)	3時間
授業科目の学修教育目標		
概要	お客様を迎え、案内、施術、見送りといった、美容室での一連の流れを実践する。	
目標	美容師としての必要な基礎技術気遣い等を学ぶ。衛生面も気を付ける。	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	サロンワーク	サロンの一連の流れを実践

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年前期・後期	美容実習 (町美Festa)	60時間
授業科目の学修教育目標		
概要	今までの学んできた知識技術を発表する	
目標	今までの学んできた知識技術を発表する	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	実習 学生たちが自らデザインした作品について、アドバイス等行う。また、担当教員は、美容室等で実務経験があり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	作品制作	作品制作
2	作品制作	作品制作
3	作品制作	作品制作
4	作品制作	作品制作
5	作品制作	作品制作
6	作品制作	作品制作
7	作品制作	作品制作
8	作品制作	作品制作
9	作品制作	作品制作
10	作品制作	作品制作
11	作品制作	作品制作
12	作品制作	作品制作
13	作品制作	作品制作
14	作品制作	作品制作
15	作品制作	作品制作
16	作品制作	作品制作
17	作品制作	作品制作
18	作品制作	作品制作
19	作品制作	作品制作
20	作品制作	作品制作

2025年度 シラバス

開講年度	課程	学科
2025	職業実践専門課程	美容学科
学年	科目名	時間数
2年後期	美容実習(国試対策)	156時間
授業科目の学修教育目標		
概要	国家試験合格に向け、集中的に課題に取り組む	
目標	国家試験合格をめざす	
成績評価方法	1)成績評価はA～Dの4段階で前期と後期とをそれぞれに判定し、C以上を合格・履修認定とする。 ※評価基準:A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)	
授業の方法と特徴 教員の実務経験	講義・実習 デモンストレーションをしながら、モニターを使って細かく技術説明を行う。また、担当教員は、美容師として実務経験があると同時に、国家試験対策授業に携わり、経験と知識に基づいてわかりやすく指導をする。	
授業内容		
1	国試対策	第1課題、第2課題